

1 教科について

国語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

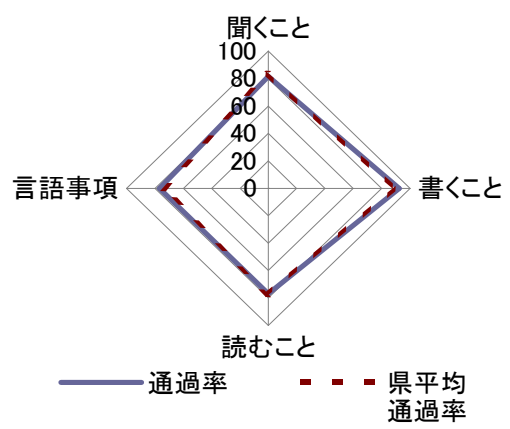
- ①「言語事項」の領域において、文中における主語と述語の関係に注意することに課題がある。
- ②「読むこと」の領域において、場面の移り変わりや情景を叙述に即して想像しながら読むことに課題がある。
- ③文と文の意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことに課題がある。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

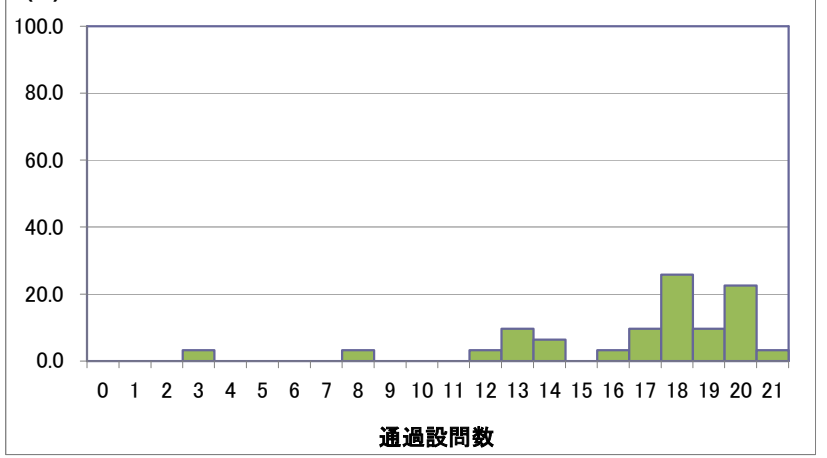
- ①主語と述語の意味を押さえ、主述を明確にして文を書かせたり読ませたりすることにより、主述の照応関係を正しくとらえる力をつけることに取組んだ。
- ②授業中の音読回数を増やし、すらすらと読めるようにさせ、分からない言葉は必ず辞書で調べさせるなどして、登場人物の心情を読み取る力をつけることに取組んだ。
- ③日常生活や他教科においてメモを取る活動を取り入れ、それをもとにまとめて書く力をつけることに取組んだ。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 79.7% 県平均 78.5%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎「読むこと」において、場面の移り変わりや情景を読みとることに課題がある。
- ◎既習漢字の読み書きに課題がある。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①「読むこと」の力を定着させるために、人物の気持ちや場面の移り変わりを叙述に即して読み取らせる指導を継続していく。また、授業の中でもしっかり音読をさせていく。
- ②既習漢字のドリル学習を行い、習熟を図る。また、漢字を使った短文作りにも取り組み、意味をつかませるようにする。

来年度の目標値

○「読むこと」の領域において、県平均よりも2ポイント以上にする。

指導方法等の改善計画について

算 数

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

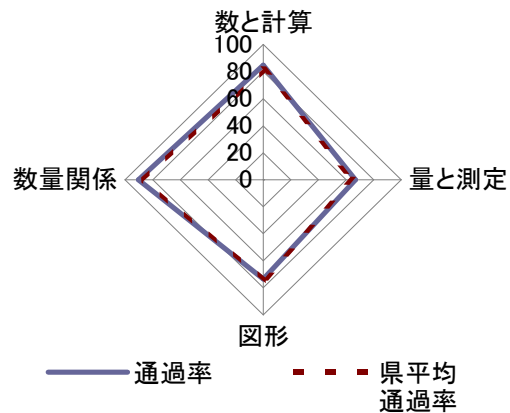
- ① 定規で方眼紙に作図をすることに課題がある。
- ② 数量の関係を見つけて立式をすることに課題がある。
- ③ 円の面積の求め方について理解をすることに課題がある。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

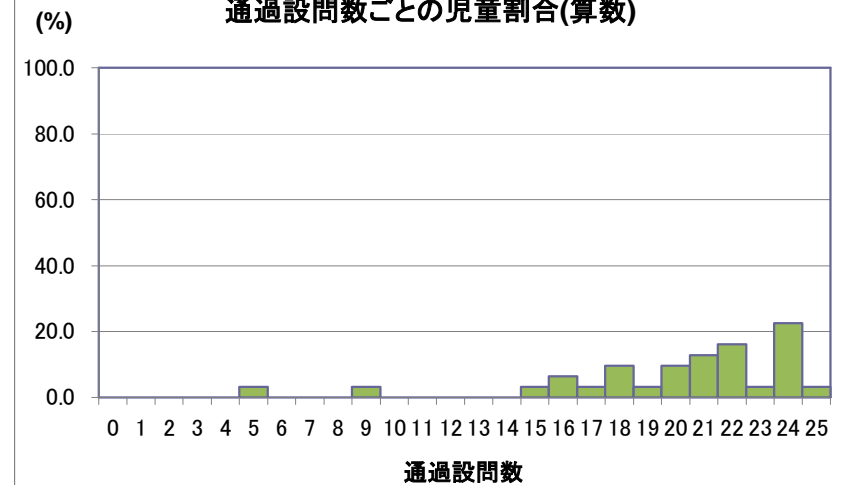
- ① 単元の学習で終わらせるのではなく、他教科とも関連させて三角形等の作図の場面を増やした。
- ② 伴って変わる2つの数量関係を見つける力を付けていくために、問題文をしっかりと読んでイメージを広げ、図や表などを使ってじっくり考えさせ、規則性を見つけて自分の言葉で表現させた。
- ③ いろいろな単位や公式を教え込む指導から、身近なものを使って算数的な活動を仕組んでいくようにし、量感や考え方をつかむ力をつけるように取り組んだ。
- ④ どの単元においても、定期的に復習をし、学習内容の定着を図った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **80.1%** 県平均 **77.8%**

領域別平均通過率(算数)



通過設問数ごとの児童割合(算数)



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査
- ◎ 「量と測定」の、1kgのおよその重さを見当することに課題がある。
- ◎ 分数の意味と表し方に課題がある。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

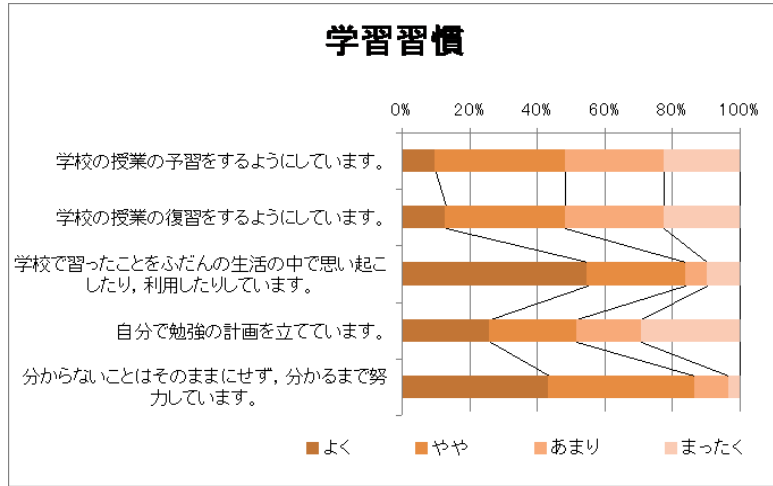
- ① 実際に測定するなどの活動を通して、身近なものとの量とを結びつけられるようにする。
- ② 分数の意味をとらえさせるために、身近なものを使って算数的活動をしくみ、その表し方についても繰り返し指導していく。

来年度の目標値

○ 「数量関係」の領域において、県平均よりも3ポイント以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

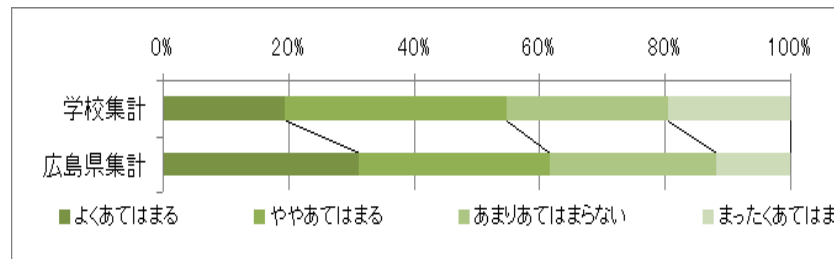


| 改善したい点 (◎「基礎・基本」) | 今後の具体的な取組の内容 |
|--|---|
| ◎・・・学校の授業の予習をしている児童が少ない。(48.4%) ◎・・・学校の授業の復習をしている児童が少ない。(48.4%) | ・家庭学習の仕方を教え、予習、復習の大切さを理解させる。 ・児童に予習、復習のやり方を指導し、定期的に宿題として出すと共に定着状況を把握しながら段階的に指導していく |

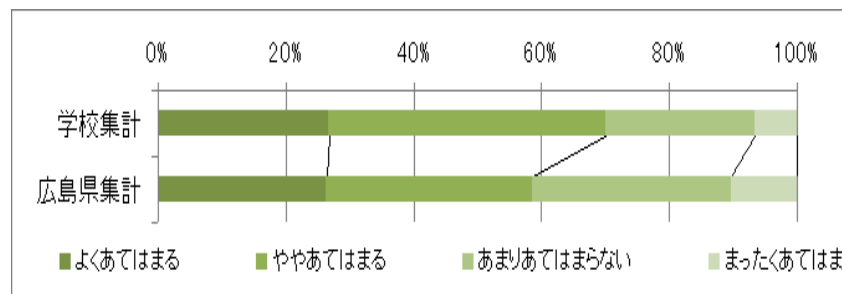
| 来年度の目標値 | 目標内容 |
|---------|-----------------------------|
| | ・学校の授業の予習、復習をする児童を60%以上にする。 |

(2) 教科

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べます。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



| | 児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」) | 授業改善の方向性や具体的な取組 |
|---------|--|--|
| 国語 | ◎・・・国語の授業で、メモを取りながら聞くことが少ない。(51.6%) ◎・・・国語の授業で、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べていない。(54.8%) | ・メモの取り方を教え、目的に合わせて取るよう日常の場面でも取り入れて行く。 ・分からない言葉意味調べや授業などで辞書の使用回数を増やしていく。 |
| 算数 | ◎・・・算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明している児童が少ない。(69.9%) | ・個に応じた指導を充実していく。 ・問題文に対応する絵や図、文章などを活用し解答させ理由や自分の考え方、解き方を文章でまとめたり書かせたり、ペア学習などを取り入れたりする授業を充実する。 |
| 来年度の目標値 | ・国語の授業で辞書を使って調べる児童を70%以上にする。 ・算数の授業で理由をあげて説明できる児童を75%以上にする。 | |

